

トリアージタグ回収箱の開発について

枚方寝屋川消防組合消防本部（大阪） 寺西 澄和

（開発の目的）

近年、大規模な商業施設の建設や交通網の発達、また都市部では高層化が進み、限定された空間に多くの人が集まるといった場所が増加しています。当消防本部管内にも、第二京阪高速道路の開通や、大型ショッピングモールも数多く建てられていることから、今後、経験したことないような負傷者が多数発生する不測の事態が起こりえると考えられ、このため私達は、いつ、どこで、どのような災害が発生しても、迅速に対応すべく日々訓練に励んでいます。

集団災害時には効率的な消防活動を求められますが、その為には、いち早く情報を収集することが必要条件と考えます。しかし、集団災害を想定した訓練でも特にトリアージタグ回収作業及び転記作業（人定、数、搬送病院等）にかなりの時間を費やし、更には、回収したタグが風等の影響で無くなったりして正確な情報の把握ができないのが現状です。

集団災害時における傷病者の人定及び搬送病院並びに傷病者数等の情報を把握するにあたり、回収されたトリアージタグを一時的に保管するものがない為に傷病者の人定及び搬送病院、傷病者数等の情報の整理にかなりの時間がかかっている現状ですので、そのような現状を打破すべく開発したのが「トリアージタグ回収箱」です。回収されたトリアージタグを一時的に保管し、情報整理をしやすくする箱を開発したものです。

（構造）

今回、考案した「トリアージタグ回収箱」は、木製の箱（55cm×40cm、高さ8cm）内をベニヤ板で8区画に仕切りを設け、縦の4区画にトリアージタグ回収員が回収したタグを投入すると

いった、誰でも一目で理解できる構造です。

箱開き扉裏面を机としてデスクマットを張り付けているので、どこでも、この箱さえあれば整理作業を開始でき、投入されたタグを取り出し転記作業後に、色分けされた（重症度ごとに分かれた）パネル下へ投入して、確実にタグを保管できるようにしています。

「トリアージタグ回収箱」の各部材は次のとおりです。

（材料）

木板	8 c m × 4 0 c m	2 枚
	8 c m × 5 5 c m	2 枚
	4 0 c m × 5 5 c m	2 枚
木片	4 c m × 4 c m × 8 c m	2 個
ベニヤ板	4 0 c m × 6 c m	3 枚
	5 3 c m × 6 c m	1 枚
	2 1 c m × 5 3 c m	1 枚
蝶番		4 つ
ビス		1 6 本
掛け金		2 個
廃棄ホース	4 0 m m × 1 1 0	1 本
デスクシート	3 9 c m × 5 5 c m	1 枚

（検証結果）

トリアージタグ回収箱を使用してからは、トリアージタグ回収者も情報収集員に気兼ねなく回収箱にトリアージタグを投入でき、情報収集員はトリアージタグの転記作業に専念できるようになった事。更に、回収箱内は色ごと（重症度）に仕切りがされている為に、色ごと（重症度）の人数把握が容易にできることから、以前よりも格段に転記作業が早くなり、転記漏れがなくなりました。

また、回収したトリアージタグが風で飛んでいく事もなくなりました。

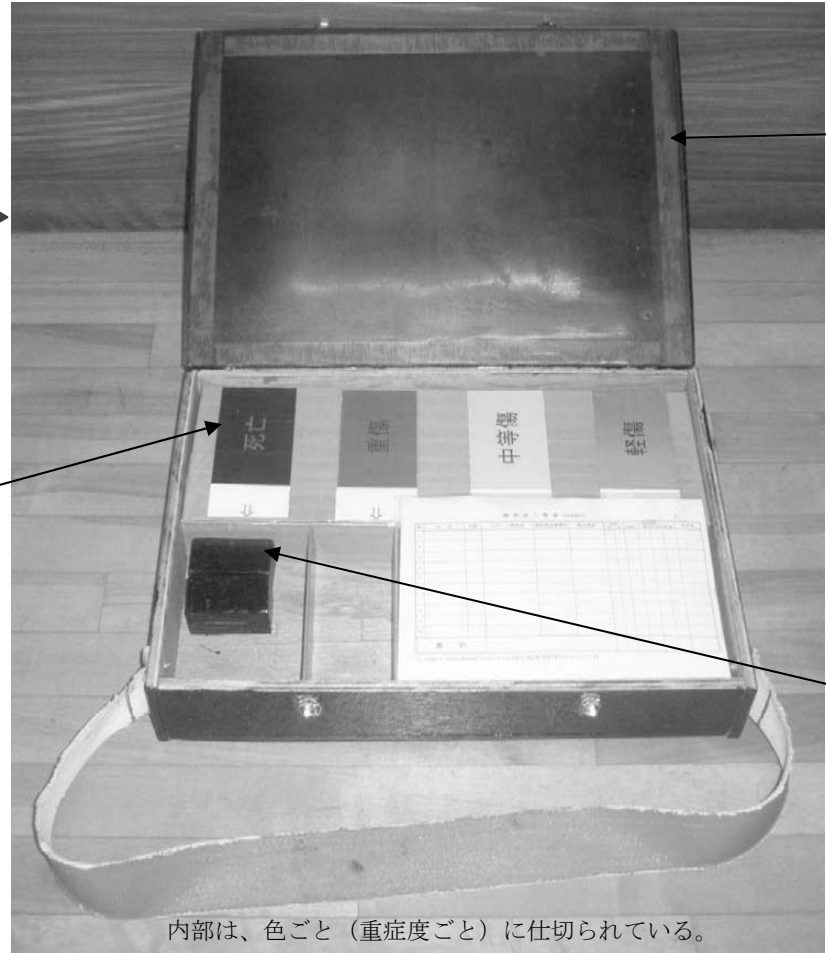
した。



木質の箱にホースの肩掛けを取り付けたもの



誤投入防止の為に、色ごと（重症度ごと）に分けたパネルを使用。



内部は、色ごと（重症度ごと）に仕切られている。

転記作業しやすいようにデスクシートを張り付けている。

開き扉の裏面を机として使用する為に、木片を台として使用する。



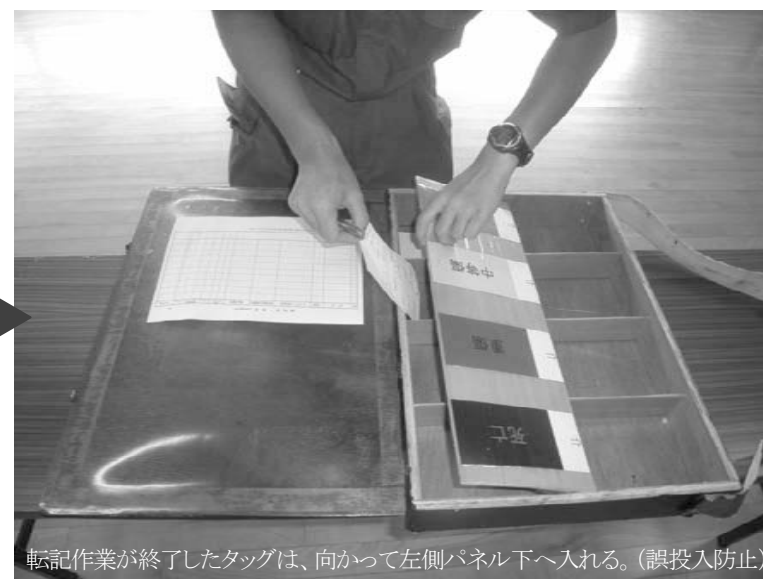
開き扉の裏面を机として使用する為に、高さ8cm×2の木片を台としている。



タグ回収員は、回収したタグは向かって右側へ入れる。(誤投入防止)

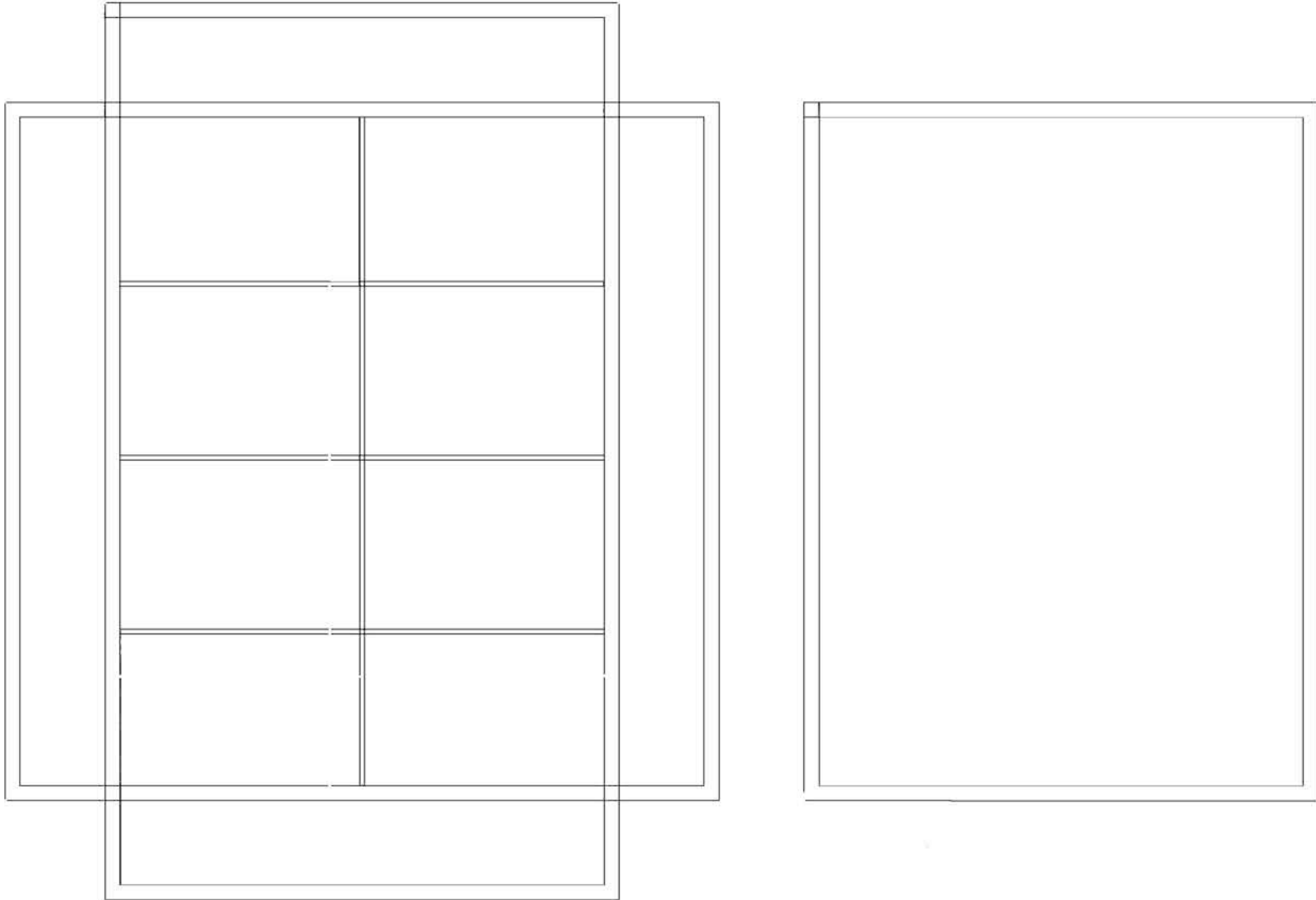


回収されたタグを集計用紙の転記する。



転記作業が終了したタグは、向かって左側パネル下へ入れる。(誤投入防止)

展開図



一般財団法人 全国消防協会

郵便番号 102-8119

東京都千代田区麴町一丁目6番2号

アーバンネット麴町ビル5階

電話 (03) 3234-1321(代)

FAX (03) 3234-1847

※禁無断転載